

株式会社クレア

Vol.13

くれあ通信 4月号

致します。
よろしくお願
さい。今後とも
うぞこ一読くだ
息のお供に、ど
た。皆様のご休
まれ変わりました。
みやすい形に生



さて、今月号よりこの「くれあ通信」もリニューアルいたしました。以前の手書きのスタイルからより親しみやすい形に生まれ変わりました。皆様のご休息のお供に、どうぞ一読ください。今後ともよろしくお願

株式会社クレアは、おかげさまをもちまして創業一周年を迎えることができました。リーマンショックに始まった未曾有の大不況から約一年半後に創業し、不安もある中、なんとか順調に業績を築くことができました。これもひとえに皆様のおかげです。本当にありがとうございました。この新年度も、先日の震災による影響で計画停電などが懸念されますが、今以上に良い製品を提供できるよう一層頑張つてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災につきまして
このたびの東日本における大震災でお亡くなりになられた方々にはご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災にあわれました方々には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

株式会社クレア 社員一同

朝霞紹介



昨年度もたくさんの朝霞を紹介してきましたが、朝霞はまだまだ魅力がいっぱい。今年度も引き続きご紹介してまいります。

朝霞市は、南は和光市、北は志木市に挟まれていて、東武東上線の駅も池袋から順に和光市駅⇒朝霞駅⇒朝霞台駅⇒志木駅となっています。朝霞台駅は朝霞市の北に位置する場所なので、朝霞駅と朝霞台駅はともに朝霞市になります。

私たちのオフィスはこのうちの朝霞駅になるのですが、残念なことに東武東上線

では各駅が準急しか止まりません。和光市駅、朝霞台駅、志木駅は最も路線が多い急行が止まるため、この4駅で比較すると朝霞駅はマイナーな部類に入るので。ですが、朝霞には有名人が何人かいます。そのお話はまた別の機会にいたしましょう。



映画紹介

『ショーシャンクの空に』

幸運にもこの映画は日本で封切られてすぐに映画館で観ることができました。その年のアカデミー賞のノミネート作品の中にこの「ショーシャンク」があり、どんな映画だろうかと興味津々で観に行ったのを記憶しています。本作はとて有名ですのでご存じの方も多いと思います。スティーブン・キング原作の感動巨編で、「スタンド・バイ・ミー」と同じ「恐怖の四季」の一編として綴られています。特に映画のラストは鮮烈に記憶に残って

おり、脱獄のあのシーンの爽快感は忘れられません。また、原作にない最後の海の青さが大変に印象的でした。この苦難の時代を乗り越える力を秘めていると思います。未見の方は是非ご鑑賞ください。

ショーシャンクの空に
The Shawshank Redemption
1994

Director: Frank Darabont
Writer: Frank Darabont
Cast: Tim Robbins
Morgan Freeman



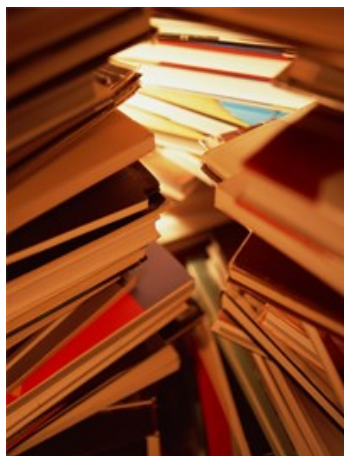
書籍紹介

『半島を出よ』 村上龍 (2005)

北朝鮮のコマンド9人が開幕戦の福岡ドームを武力占拠。その2時間後、500人の特殊部隊が来襲し、福岡市中心部を制圧。やがてテロを恐れた日本政府は九州を封鎖し、九州は恐怖に侵食されていく。絶望と希望が交錯する中、若者たちの決死の抵抗が始まる。

現代の日本が抱える問題点を提示しつつも、エンターテインメント性を存分に発揮した非常におもしろい作品です。混乱の中、日本政府が「最優先事項を決められない」まま事態が悪化していくところなどが痛切に描かれています。

本作で恐ろしいのはこれらが「実際に起こり得ないとは言えない」ことだという点です。北朝鮮、何をするか分かりませんからね。このようなテーマを、リアリティを失わずに描ききった村上龍のすごさを改めて感じます。本書のリアリティーを裏付けているのは、その圧倒的な情報量です。巻末の参考文献は、文庫本で13ページにのぼる資料が列挙されており、各専門家へのリサーチや、十数人の脱北者へのインタビューなど、ソースは多岐にわたります。このような作品を創るのは恐ろしく大変な作業だと想像しますが、またこんな本を読ませて欲しいと願わずにいられません。



Crea

コンピューターソフトウェアの企画、開発なら株式会社クレアへ